



周囲の状況により具体的な行動は異なります。
日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

ビル（エレベーター）

施設の係員の指示に従ってください。
落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さないでください。
エレベーターは最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。



家庭

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
あわてて外に飛び出さないでください。
揺れが収まるまで無理に火を消そうとしないでください。



日頃から家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えましょう。



バス・電車

つり革や手すりにしっかりつかまってください。



自動車運転中

あわててスピードを落とさないでください。
ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。
大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。



山・ガケ付近

落石やがけ崩れに注意してください。

屋外

ブロック塀の倒壊等にご注意ください。
看板や割れたガラスの落下にご注意ください。
※丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。



緊急地震速報を見聞きしたときは

近年、全国各地で地震が発生しています。
「いざ」というときの対処法を確認しておきましょう。

●問い合わせ 総務課危機管理室 ☎ 093・588・1037



緊急地震速報はこんな時に発表されます

最大震度5弱以上を予想した場合に加え、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも緊急地震速報（警報）を発表します。ガタガタという強い揺れ（大きな震度）でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ（長周期地震動）でもとるべき行動に違いはありません。

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 または 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域

●緊急地震速報の入手方法



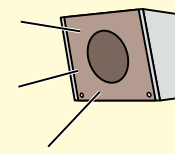
テレビ・ラジオ



携帯電話・スマホ



防災行政無線



館内放送



専用の音（報知音）を覚えておきましょう

緊急地震速報が発表されたことが即座にわかるよう、テレビやラジオ、携帯電話などでは、専用の音（報知音）と共に緊急地震速報をお知らせします。

テレビやラジオなどでの放送内容や携帯電話で着信した内容を確認していると、強い揺れへの備えが遅れてしまいますが、この報知音を覚えておくことで、緊急地震速報が発表されたときに、とっさに身を守る行動がとれるようになり、緊急地震速報をより有効に利用できるようになります。

報知音については、携帯電話会社や放送局のホームページを確認したり、受信端末で試聴するなどして音を確認しておきましょう

主な携帯会社の報知音



ドコモ



au



ソフトバンク